

事務事業評価シート

事務事業コード	020900	重点施策	まちづくり	令和元年度 第10次鳥取市総合計画		
事務事業名	人材誘致・定住促進対策事業		所属名	市民生活部	地域振興課	

1. 基本情報

位置づけ の 総合計画	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	30	地域に活気があるまち		事業期間	平成18年度 ~ 全期
	政策	02	交流の拠点となるまちづくり		根拠法令、 根拠計画等	
施策	3201	ふるさと・いなか回帰の促進				
目標の 実施の 目標	目標の種類		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	住んでいる地域に今後も住み続けたいと思う市民の割合(H26年度:82.1%)		0%	89%	運営方法	直営
	移住定住世帯数		440世帯	1,320世帯	会計区分	一般会計
	移住定住者数		800人	2,400人		
予算	予算事業名	人材誘致・定住促進対策事業費			予算事業コード	01-02-01-07-01-14

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	本市への移住(U・J・Iターン)希望者
意図 (どのような状態 にするために)	U・J・Iターンを希望する人や田舎暮らし・スローライフを希望する人が増えている現状を踏まえ、特に若者や団塊世代に本市への移住を促進する。
手段 (どうするか)	Uターン相談支援窓口において、移住希望者へ本市の定住情報を総合的に提供するとともに、相談員によるきめこまやかに継続的な支援を行う。また、都市部で開催される移住関連イベントにブースを出展するなど、県外での戦略的な情報発信を行う。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
		お試し定住体験事業 U・Iターン者住宅 利活用推進事業 移住定住空き家運営 業務委託事業 ようこそ奨励金事業 交流情報ガーデンに 相談員を配置	お試し定住体験事業 U・Iターン者住宅 利活用推進事業 移住定住空き家運営 業務委託事業 ようこそ奨励金事業 避難者への住宅支援 事業を実施	お試し定住体験事業 U・Iターン者住宅 利活用推進事業 移住定住空き家運営 業務委託事業 ようこそ奨励金事業 避難者への住宅支援 事業を実施	お試し定住体験事業 U・Iターン者住宅 利活用推進事業 移住定住空き家運営 業務委託事業 避難者への住宅支援 事業を実施 民間賃貸住宅家賃支 援事業、Uターン者就 職活動交通費支援事業	お試し定住体験事業 U・Iターン者住宅 利活用推進事業 移住定住空き家運営 業務委託事業 避難者への住宅支援 事業を実施 民間賃貸住宅家賃支 援事業、Uターン者就 職活動交通費支援事業	お試し定住体験事業 U・Iターン者住宅 利活用推進事業 移住定住空き家運営 業務委託事業 避難者への住宅支援 事業を実施 民間賃貸住宅家賃支 援事業、Uターン者就 職活動交通費支援事業
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	
	事業費(A+B)	71,750	79,749	57,920	58,235	0	
	直接経費 A	55,062	65,111	43,434	44,089	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	5,336	5,629	6,330	6,820	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	23,109	36,356	18,386	13,518	0
一般財源	26,617	23,126	18,718	23,751	0		
人件費 B	16,688	14,638	14,486	14,380	0		
職員数の内訳	正規職員	2.00	2.00	2.00	2.00	0.00	
	嘱託職員	4.00	5.00	4.00	4.00	0.00	
	臨時職員	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
				1	[KPI] Uターン支援登録制度の登録者数	人	目標	1250
			実績	139	189	275	351	0
	(指標の説明) 定住促進・Uターン相談支援窓口の相談登録者。基準値は平成27年度実績。							
2	[KPI] 官民協働による首都圏等での相談会の開催	回	目標	1	2	3	4	4
			実績	4	5	6	5	0
	(指標の説明) 年4回以上の開催を目指す。							
3	[KPI] 移住定住者数	世帯	目標	440	660	880	1100	1320
			実績	297	668	1009	1271	0
	(指標の説明) H30からの追加指標。基準値200世帯351人(H26)、目標値1,100世帯2,000人以上							

5. 令和元年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】移住定住促進係 0857-30-8173</p> <p>【10次総の施策体系】3101</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P42(地001)</p> <p>【事業の概要】</p> <p>各種情報の収集・発信機能を強化するとともに、相談者へのきめ細やかで親身な対応を行うため、平成18年に「鳥取市定住促進・Uターン相談支援窓口」の開設と相談員を配置し、現在は3名体制としている。平成24年には首都圏・関西圏にそれぞれ1名ずつの相談員を配置。平成28年には「鳥取市移住・交流情報ガーデン」を設置、移住定住コンシェルジュを3名配置し、合計8名の相談員により移住定住の促進を図った。</p> <p>事業の内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 移住定住相談員の配置による相談対応及び情報発信 2. 無料職業紹介事業 3. 移住・交流情報ガーデン運営事業 4. 首都圏・関西圏移住定住相談員設置事業 5. ふるさと鳥取市・回帰戦略連絡会事業 6. お試し定住体験事業 7. 移住定住空き家運営業務委託事業 8. 移住促進のための各種補助事業 9. 連携中枢都市圏による移住の取組 <p>【事業の成果】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成29年度</th> <th>平成30年度</th> <th>令和元年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1. 窓口対応延べ件数</td> <td>1,109件</td> <td>920件</td> <td>1,119件</td> </tr> <tr> <td>2. 窓口相談登録世帯数</td> <td>515件</td> <td>389件</td> <td>449件</td> </tr> <tr> <td>3. 窓口移住者数</td> <td>371世帯487人</td> <td>341世帯464人</td> <td>262世帯359人</td> </tr> </tbody> </table> <p>【今後の課題・方向性】</p> <p>本事業は、本市の移住定住施策を内外に強くアピールするとともに移住定住者増に大きな効果をあげており、今後も継続して推進する。</p> <p>その他財源の繰入金は、ふるさと納税基金繰入金。財産収入は電気自動車売払代金。諸収入は、お試し定住体験施設体験料、鳥取市へようこそようこそ奨励金返還金。</p>		平成29年度	平成30年度	令和元年度	1. 窓口対応延べ件数	1,109件	920件	1,119件	2. 窓口相談登録世帯数	515件	389件	449件	3. 窓口移住者数	371世帯487人	341世帯464人	262世帯359人
	平成29年度	平成30年度	令和元年度														
1. 窓口対応延べ件数	1,109件	920件	1,119件														
2. 窓口相談登録世帯数	515件	389件	449件														
3. 窓口移住者数	371世帯487人	341世帯464人	262世帯359人														

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指標 達成 率	1	[KPI] Uターン支援登録制度の登録者数	11%	95%	92%	88%	
	2	[KPI] 官民協働による首都圏等での相談会の開催	400%	250%	200%	125%	
	3	[KPI] 移住定住者数	68%	101%	115%	116%	

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p> <p>本事業は、本市が重点的に取り組んでいる移住定住施策を内外に強くアピールするとともに、移住定住者の増加に大きな成果をあげているため、今後も継続する。また、R2年3月以降、新型コロナウイルス感染症の影響により移住相談登録件数等が減少する厳しい状況にあるが、都道府県をまたぐ移動や密を避けるオンライン相談業務を導入するなどして移住者の獲得に繋げていく。</p>		

事務事業評価シート

事務事業コード	021100	重点施策	まちづくり	令和元年度 第10次鳥取市総合計画	
事務事業名	グリーンツーリズム推進事業		所属名	市民生活部	地域振興課

1. 基本情報

位置づけ 総合計画の	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	30	地域に活気があるまち		事業期間	平成18年度 ~ 全期
	政策	02	交流の拠点となるまちづくり		根拠法令、 根拠計画等	鳥取市中山間地域対策強化方針、鳥取県みんなで取り組む中山間地域振興条例
施策	3201	ふるさと・いなか回帰の促進				
目標の 実施の	目標の種類別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	住んでいる地域に今後も住み続けたいと思う市民の割合(H26年度:82.1%)		0%	89%	運営方法	補助金交付
	移住定住世帯数		440世帯	1,320世帯	会計区分	一般会計
	移住定住者数		800人	2,400人	予算事業コード	01-02-01-07-34-05
予算	予算事業名	グリーンツーリズム推進事業費				

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	<ul style="list-style-type: none"> とっとり因幡グリーンツーリズム推進協議会 鳥取市グリーンツーリズム連絡会 中山間地域魅力ある民泊推進事業補助金
意図 (どのような状態にするために)	都市住民が本市の農林漁業・文化・歴史等を通じて滞在型余暇活動をする事により中山間地域の振興を図るとともに、本市への移住定住を促進する。
手段 (どうするか)	<ul style="list-style-type: none"> とっとり因幡グリーンツーリズム推進協議会の活動支援を行う。 鳥取市グリーンツーリズム連絡会活動支援。 中山間地域魅力ある民泊推進事業補助金により、民泊に取り組む宿泊事業者等を支援する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
		とっとり因幡グリーンツーリズム推進協議会の活動支援 鳥取市グリーンツーリズム連絡会の活動支援 武蔵野市家族自然体験交流事業の支援	鳥取市グリーンツーリズム連絡会の活動支援 とっとり因幡グリーンツーリズム推進協議会の活動支援	鳥取市グリーンツーリズム連絡会の活動支援 とっとり因幡グリーンツーリズム推進協議会の活動支援 武蔵野市家族自然体験交流事業の支援 中山間地域魅力ある民泊推進事業補助金	鳥取市グリーンツーリズム連絡会の活動支援 とっとり因幡グリーンツーリズム推進協議会の活動支援 武蔵野市家族自然体験交流事業の支援 中山間地域魅力ある民泊推進事業補助金	鳥取市グリーンツーリズム連絡会の活動支援 とっとり因幡グリーンツーリズム推進協議会の活動支援 中山間地域魅力ある民泊推進事業補助金	鳥取市グリーンツーリズム連絡会の活動支援 とっとり因幡グリーンツーリズム推進協議会の活動支援 中山間地域魅力ある民泊推進事業補助金
	年度別実績	とっとり因幡グリーンツーリズム推進協議会 会員数 27団体 鳥取市グリーンツーリズム連絡会 会員数 12団体 武蔵野市家族自然体験交流事業 20家族・58名参加	とっとり因幡グリーンツーリズム推進協議会 会員数 26団体 鳥取市グリーンツーリズム連絡会 会員数 8団体	とっとり因幡グリーンツーリズム推進協議会 会員数 27団体 鳥取市グリーンツーリズム連絡会 会員数 12団体 武蔵野市家族自然体験交流事業 19家族・55名参加 補助金活用実績 0件	とっとり因幡グリーンツーリズム推進協議会 会員数 22団体 鳥取市グリーンツーリズム連絡会 会員数 10団体 補助金活用実績 1件		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	
	事業費(A+B)	2,663	1,681	2,597	1,960	0	
	直接経費 A	1,941	949	1,873	1,241	0	
	直接経費の内訳	国・県	79	41	90	236	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	824	0	779	0	0
一般財源	1,038	908	1,004	1,005	0		
人件費 B	722	732	724	719	0		
職員数の内訳	正規職員	0.10	0.10	0.10	0.10	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
				1	(KPI)とっとり因幡グリーンツーリズム推進協議会会員数	団体	目標	27
			実績	27	26	26	22	0
	(指標の説明) 基準値は平成26年度実績。							
2	鳥取市グリーンツーリズム連絡会会員数	団体	目標	14	14	14	14	14
			実績	12	8	9	10	0
	(指標の説明) 基準値は平成26年度実績。							
3			目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)							

5. 令和元年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と運動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】振興係 0857-30-8172</p> <p>【10次総の施策体系】3202</p> <p>【事業の経過・背景】 本市中山間地域では、豊かな自然や風景、地域ではくまれた特産物、固有の伝統芸能や文化財など多様な地域資源を生かし、都市住民との交流を行うグリーンツーリズムが各地域で実施されている。これら各地域や集落単位等の取組を全市や東部一円で連携して推進する。</p> <p>【事業の目的及び効果】 グリーンツーリズムを「都市と農村の共生」による地域活性化の有効な手段と位置づけ、東部一円のグリーンツーリズムに取り組む民間団体及び個人、行政機関が一体となって推進していくための「とっとり因幡グリーンツーリズム推進協議会」や本市グリーンツーリズム連絡会会員で構成される「鳥取市グリーンツーリズム連絡会」の活動を支援することにより、鳥取市の農山漁村が豊かな自然景観のもとに、「遊ぶ」「食べる」「学ぶ」「安らぐ」等の生活体験の提供を通じた感動が得られる活力あふれる場となり、そこで暮らす住民と都市住民との交流の拡大を図る。</p> <p>【事業の実績】 ・鳥取市グリーンツーリズム連絡会 会員数 H27/14団体 H28/13団体 H29/12団体 H30/9団体 R01/10団体 ・とっとり因幡グリーンツーリズム推進協議会(26の実践団体等と県・1市4町) H22年度設立 ホームページ運用、事務局設置、広域研修ほか ・中山間地域魅力ある民泊推進事業補助金 実績1件</p> <p>【事業の内容】 鳥取市グリーンツーリズム推進補助金 とっとり因幡グリーンツーリズム推進協議会負担金 中山間地域魅力ある民泊推進事業補助金</p> <p>【根拠計画】鳥取・因幡定住自立圏共生ビジョン、鳥取市中山間地域対策強化方針、第10次鳥取市総合計画</p> <p>【市民ニーズの状況】各会派要望、地域づくり懇談会、地域要望による</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指標 達成 率	1	[KPI]とっとり因幡グリーンツーリズム推進協議会会員数	100%	93%	90%	73%	
	2	鳥取市グリーンツーリズム連絡会会員数	86%	57%	64%	71%	
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input checked="" type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	協議会の在り方検討を行っており、新規会員勧誘活動を停止していたため。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input checked="" type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p> <p>中山間地域の豊かな自然や伝統芸能、文化財などの地域資源を生かし、都市住民との交流を行う事業であり、交流人口の拡大により本地域の魅力発信と地域活性化に繋がるものとして今後も支援していく。</p>		